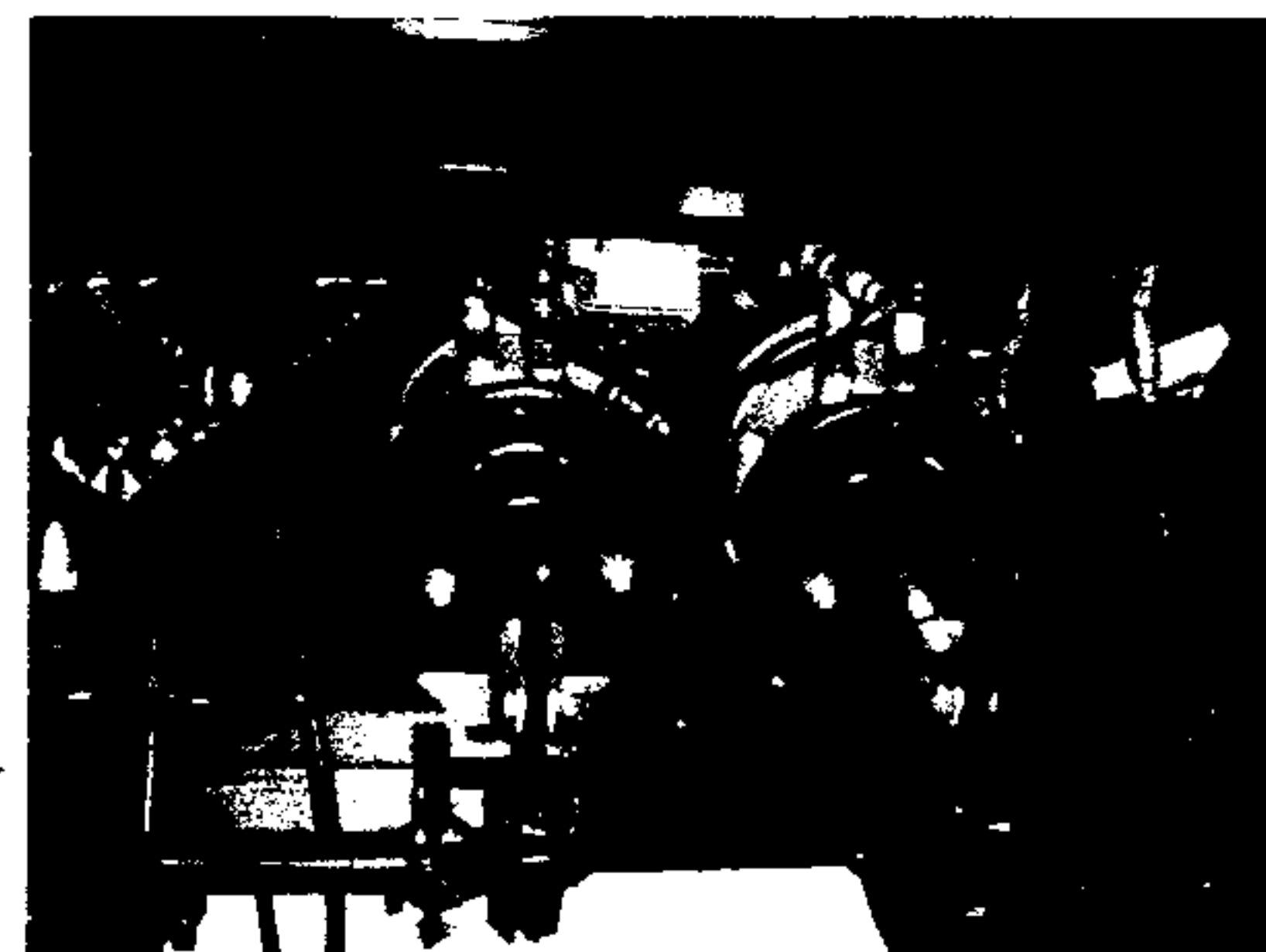
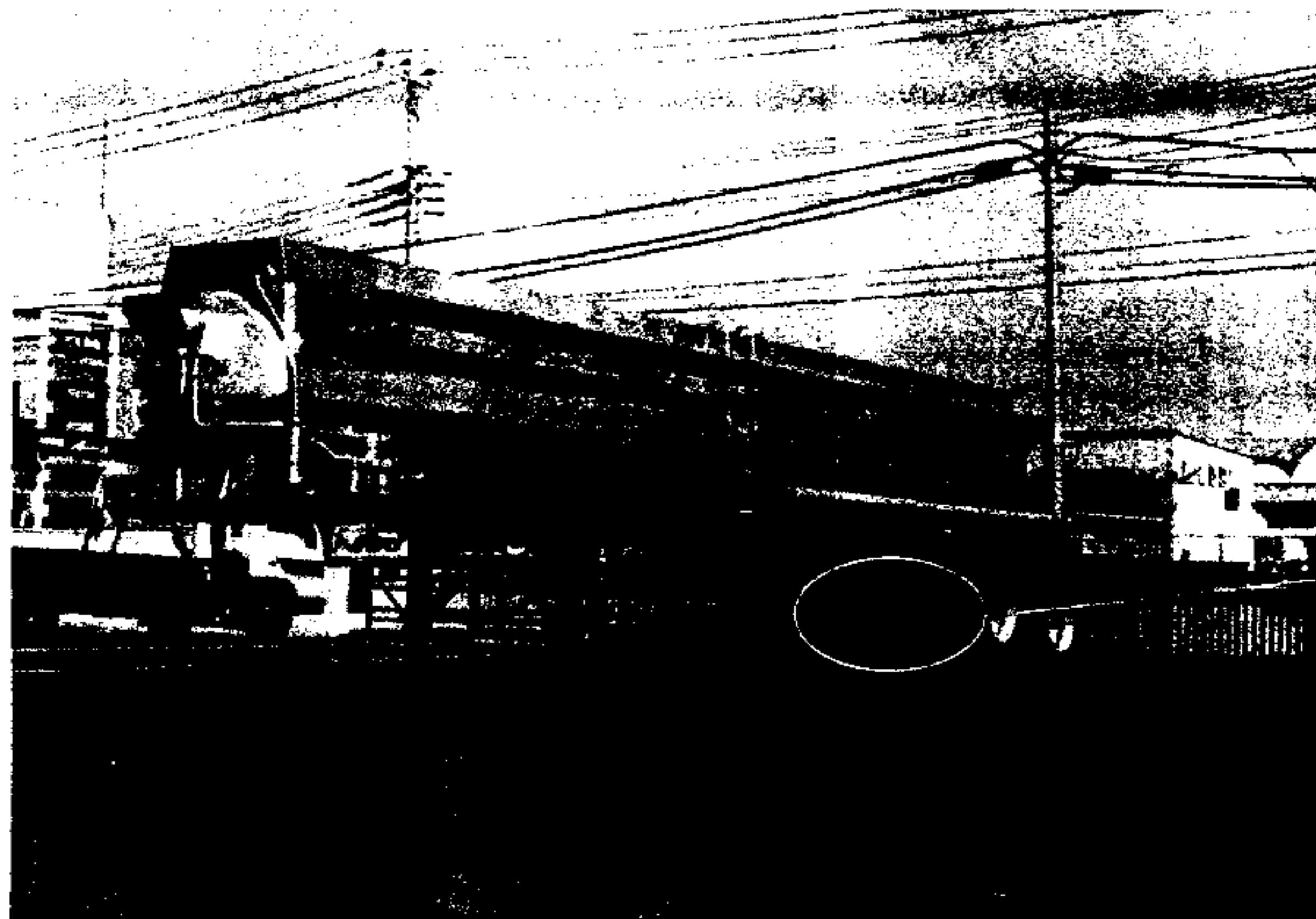
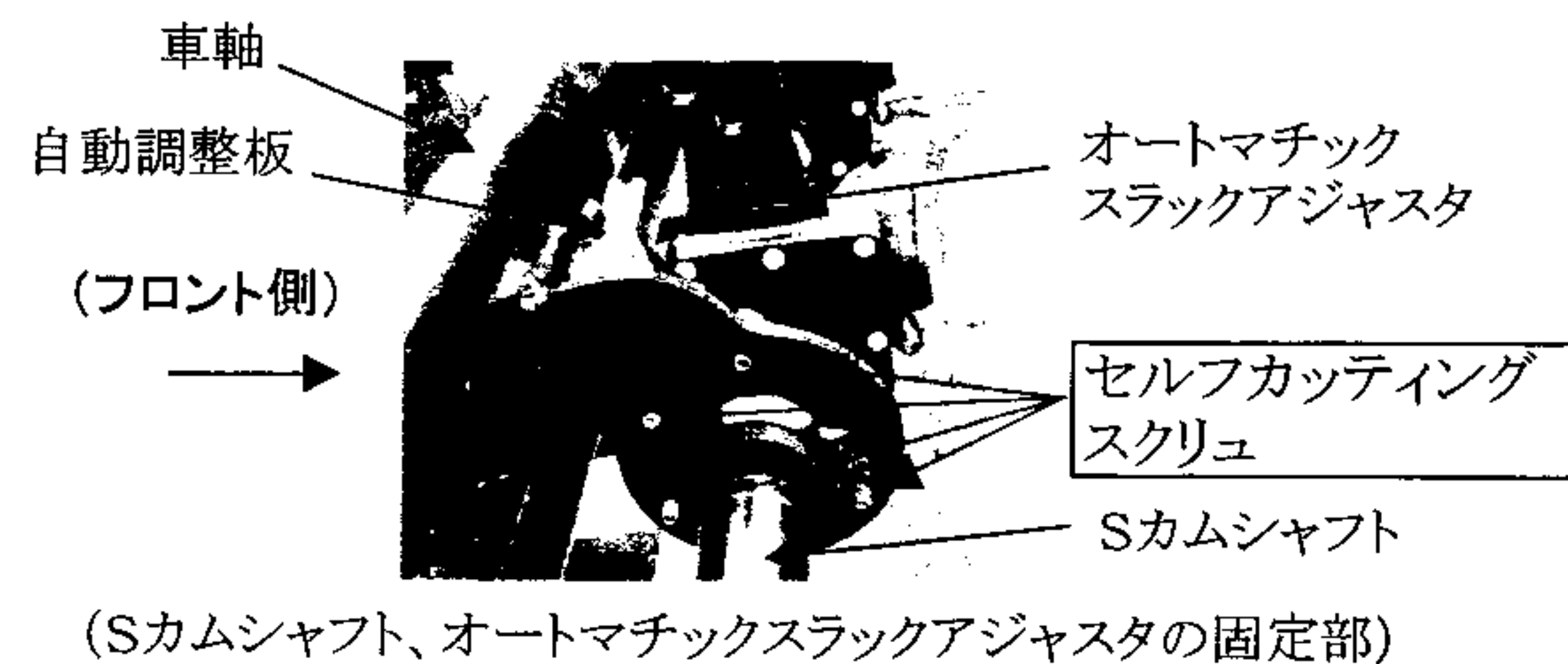


改善箇所説明図

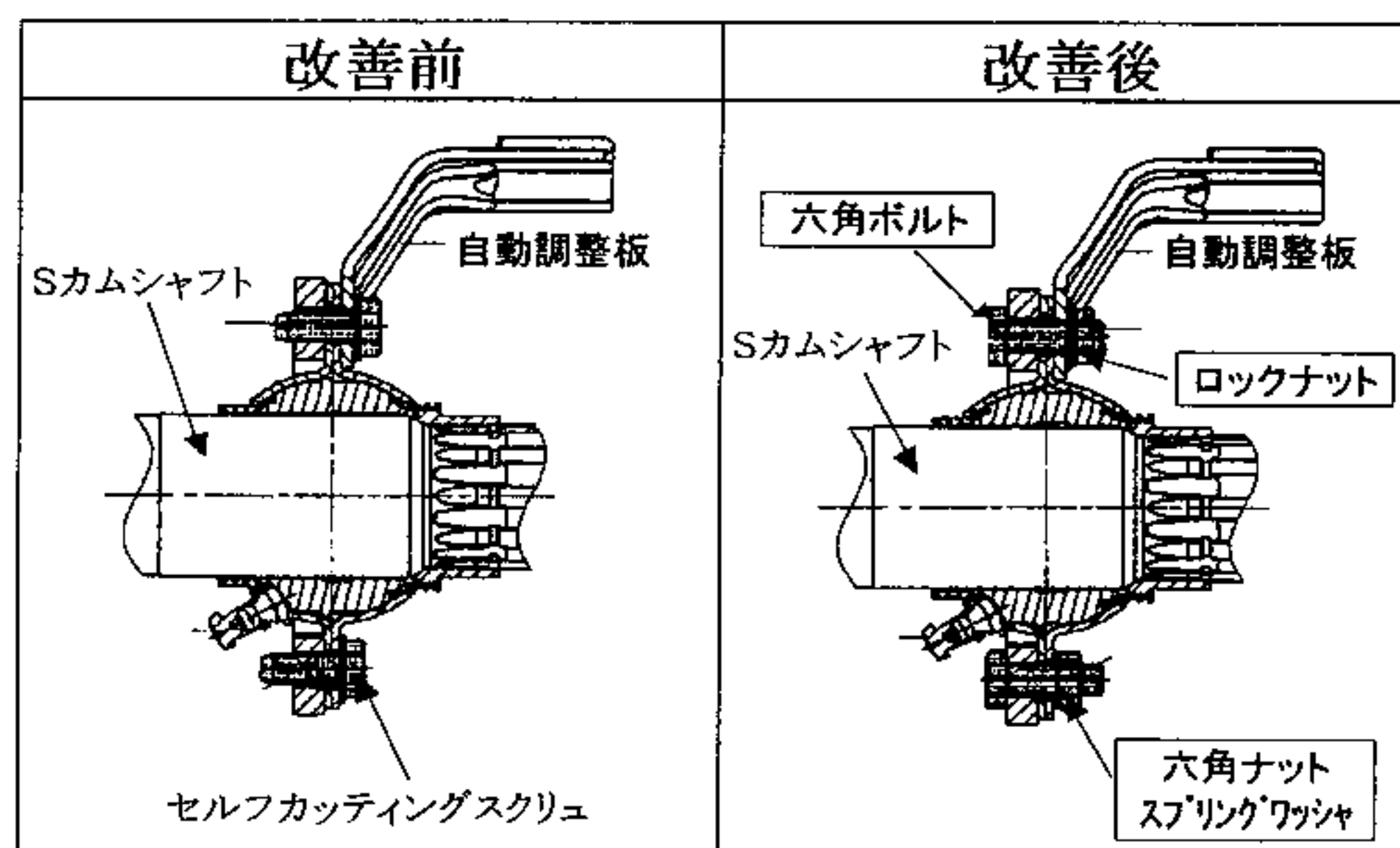


(前側より車軸部を見る)



改善の内容

全車両、セルフカッティングスクリューを対策品(ボルト、ナット)と交換する。



基準不適合発生箇所

ライニング隙間調整板等を固定している対応セミ・トレーラにおいて、Sカムシャフト、オートマチックスラックアジャスタの部分は制動装置の一部であり定期点検時に点検・修理されるべきものであるが、これらを固定しているセルフカッティングスクリューの折損を点検後でも放置されているものがある。そのため、そのまま放置を続けると、自動調整板が脱落し、ブレーキドラムとブレーキライニング隙間の自動調整機能が失われるおそれがある。

注: は交換部品を示す。